

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：西谷 真一 S.A.A.
- ◆会場：大沼デパート



ロータリー：
変化をもたらす

第2801回例会 平成30年2月26日(月)



会長挨拶

半田 稔 会長



平昌オリンピック

1か月ぶりの例会会場です。この間さまざまなことがありましたが、ロータリー関係でご報告申し上げることとしては、2月11日(日)に、細谷伸夫会員の旭日小綬章受賞記念祝賀会が、山形グランドホテルで開催されました。細谷先生は、弁護士として東北

弁護士会連合会会長、ロータリアンとして第2800地区ガバナーを務められた他、県や市、商工会議所、大日本茶道学会などでもたいへんご活躍をされました。祝賀会には、当クラブ会員をはじめ、約220名が出席し、盛大に開催されました。改めて細谷先生にお祝いを申し上げます。

ところで今日は、2月17日(土)に開催されたIMについて報告しようと思っていたのですが、平昌オリンピックがたいへんな盛り上がりを見せたので、私なりの感想を述べさせていただきます。皆さんそれぞれ、いろいろな競技に関してさまざまな感想をお持ちでしょうから、この後ゆっくりお話しください。

さて、日本が獲得した金メダルは4個、メダル総数は13個でしたが、金のうち3個、メダルのうち6個が女子スピードスケートでした。男子スピードスケートは山形県ゆかりの選手が多かったのですが、メダルには届きませんでした。しかし、世界で5位、6位というのはいちへんすごいことだと思います。

私がいちばん感動したのは、スピードスケート女子パシュート(追い抜き)です。それまでも羽生結弦選手と小平奈緒選手が金メダルを取っていましたが、演技なり走りが終わった時点では順位未確定で、後続の選手の結果を待たなければなりません。パシュートでは、ゴールした瞬間に金メダルが決まり、盛り上がりました。

また、金メダルが取れるのではないかと期待された種目の中では、いちばん安心して見ていられました。その裏付けになったのは、チームとしての対策、選手の不断の努力にあったと思います。風の抵抗を少なくするにはどうしたらいいのか、滑走中先頭の順番を素早く入れ替えるにはどうしたらいいのかを科学的に分析し、戦略を立て、選手たちはそれを実現できるよう練習を積み重ねました。さらには、所属先の垣根を越え、年300日以上合宿や遠征を重ねてきました。その結果としての当然の金メダルだったように思います。

感動を与えてくれた選手たちに、心からお礼を申し上げます。

幹事報告

五十嵐 信 幹事

3月12日の例会は高知南の歓迎例会です。今年で60周年の式典に15人がお出でになります。皆さんで大いに盛り上げましょう。

●北クラブの佐藤、水上様より、来月行われる50周年式典のご挨拶がありました。

●3月のロータリーレートは108円です。

●今日はネルソン君へお小遣いをお渡しする日です。



山形北ロータリークラブ
佐藤 氏

山形北ロータリークラブ
水上 進 実行委員長



委員会報告

ロータリー情報委員会 浦山 潔 委員長

3月5日の月曜日6時半から「白ぎく」において、入会3年未満の会員と県外から転入された会員の皆さまを対象に、ファイヤーサイドミーティングと西山会を同時に開催いたします。講師は半田会長、小林エレクトお二人をお招きまして、「もっともっとロータリーを楽しもう」ということで、いい酒飲みをしたいと思っています。欠席とした方も、なるべく出席というふうに変更してご返事をいただければありがたいと思います。

ニコニコBOX

半田 稔 会長／細谷先生の叙勲記念祝賀会、第5ブロックIMに多くの会員の方にご出席いただきましたので。

小林恵一さん／東京マラソン完走。昨日、東京マラソン走って来ました。ヘトヘトになり先程山形に戻り例会に参加して居ります。

細谷伸夫さん／祝賀会が無事終わりました。感謝です。2月11日西ロータリーの皆様にも参加いただき、お陰様にて盛大な会とさせていただきます。これを機会に職業奉仕に勤めていきたいと思っています。これからも永きご交誼の程お願いいたします。ありがとうございます。

酒井政輔さん、東海林健登さん／明治大学大先輩 水上進弁護士のお来訪に感謝して。ようこそ、我が西クラブにいらっしゃいました。心から歓迎いたします。

会員卓話

松原 洋氏



東日本大震災復興に向けたCSR

大震災1週間後、行政から弊社に「安置所のボランティア、お手伝いをしてくれないか」というような話が来ました。とある廃校になったご遺体安置所でのお手伝いで、ご遺族の誘導、身元が判明した方のご遺族に対してお慰めなど、グリーンケア的な仕事を1週間から10日ぐらいほぼ毎日行いました。その時に、東ね花、スーパーで売ってるような仏花をご用意して、各ご遺体安置所に3月中旬から下旬にかけて届けておりました。半年ぐらい過ぎてから各地で合同慰霊祭が行われ、それのお手伝いをしながら、いわゆるグリーンのお手伝いから、いよいよCSR（企業としての社会的責任）どういったことが花卉業界、花屋を営む業態としてできるのかということ、予定していた結婚式ができなくなったご夫婦に対してウェディング、仮装ウェディングをバレンタインデーの日にやらしてもらったり、仮設住居ができ始めると、コミュニティー形成のお役に立てるようなアレンジメント教室などの依頼が多くありまして、月に1か所、2か所というような形でローテーションで回らせていただきました。仮設住宅も少なくなって、復興団地のような形に変わっても、今でもアレンジメント教室を続けていただいているエリアも残っております。

現在、継続している「ひまわりプロジェクト」は、2015年までの3年間、ひまわりでニコちゃんマークを作って河川敷を飾っております。各地で苗を育てていただいて、被災者と共に花壇に植える取り組みをしております。

これは2016年、2017年とさせていただきまして、今年も継続することが決定しました。一応復興庁や名取市と相談しながら2019年度まで続ける方針です。残念ながら今はそのニコちゃんマークの造形が土地の問題で、市民の憩いの花壇、名取市の美田園や閑上地区で活動しております。

こちらの「ひまわりプロジェクト」は、イベントに興味のある場合はお声掛けいただいて、ひまわりの苗を企業様で育てていただく形で、ぜひともご協力をお願いしたい次第でございます。

最後に「花贈り達人への道」として、花言葉をピックアップさせていただきました。なんか困った時は、とりあえず花を贈りましょう。赤バラは「愛」「規範」「貞節」。ロータリアンにぴったりです。「ロータリアンは赤バラを記念に贈りましょう」

ン送配電株式会社が解体され、東北地方の電源開発を推進するために、弊社の会長に就任したというわけでございます。

1951年の5月現体制の9電力会社が誕生いたしました。只見川には東京電力が古い水利権を持っておりましたが、白洲会長の尽力により、弊社が主導する電源開発が始まったと言われております。当時、東北における開発可能な水力発電所の4分の3は只見川に集中しており、1951年から1959年の約8年間、任務に就かれた会長のあいさつが、たまたま社史に掲載されておりましたので紹介しますと、「このたび、東北電力会社にご厄介になることになりました。皆さまとは全部初対面なのですが、そのうち、お互いに仲良くしてやっていくでしょう。何分、相当な変わりものとの世間の評判ですから、よろしく願いいたします。そして日本経済の再興は電源なしではあり得ない。もっと安く、豊富な電力を作っていかなければならない。敗戦国となって、貧しさの現状を立ち上がって、目的に向かって頑張りましょう。こんな時は、負けるものかという気持ちが一番大切で、希望と信念、そして勤労、三拍子揃うことが大事だ。」と述べられておりました。東北は気象条件、道路事情が厳しいことなどから、電源開発、流通設備拡充には遅れておりましたが、この対策として、1951年電力業界で初めて、高速巡航から極悪路まで幅広い走行機能を持ちました英国の軍用車ランドローバーを導入し、続いてヘリコプターによる送電路の選定、さらには、設備の保守作業の迅速化などに貢献したと言われております。

白洲会長は東京事務所が主な執務室でしたが、東北にも出向き、ダム工場の現場に姿を見せるほうが多かったと言われております。途中の、土木作業をしている現場の方々には、車を止めて「ご苦労様」と声を掛けたり、チョコレートやキャンディーなどを土産として持参し、夜にはその工事に携わっている方々と飲みながら、苦労話にしばしば涙を流したと本に書かれておりました。

鶴岡の八久和ダムサイトにある記念碑にも、「八久和堰堤を基幹とする八久和発電所、落合発電所等一連の建設をこんなに立派にやりとげた人々と私は同じ釜のめしを食った人間である。これは、私の心からの誇りである」と刻まれております。白洲次郎会長の功績と申しますと、やはり、こちら只見川開発ですね。これは日本の国策でもあったわけですし、これをしっかりと成功させ、日本だけではなく、東北の振興に揺るぎない電力の安定供給を確立させたということでございます。

今日、白洲次郎会長の話をさせていただきましたけれども、我が電力業界も今、事業環境が大幅に変わろうとしております。2020年の送配電の法的分離に向けまして、4月からは山形営業所も「社内カンパニー制」を導入しまして、営業部門は支店と統合され、技術センターが送電・配電・変電が一緒になるということで「山形電力センター」となります。そんな中でも弊社のコーポレートスローガン「より、そう、ちから。」のもとお客様のご要望に寄り添い、そして地域に寄り添い、白洲会長の指導による電源開発の功績と諸先輩方の日々再建のため、東北のために成し遂げたDNAを引き継ぎながら、皆さまから地域になくってはならない電力会社だと言われるように、今後とも努力してまいりますので、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

会員卓話

工藤 浩明氏



当社初代会長 白洲次郎

白洲次郎氏は1948年の第二次吉田内閣とともに、貿易長官に就任いたしまして、通産省の組成と高度経済成長の立役者となります。そのような方がなぜ、弊社の初代会長になったのかというと、戦後、日本の経済復興には水力発電所などの電源開発が急務でございました。その中で福島県、群馬県に源流を持ち、新潟を流れて日本海側に流れている阿賀野川水系只見川の電源開発が喫緊の課題でございました。また、当時は国策会社だったニホ

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (2/26)	100名	54名	修正出席 (2/5)	100名	87名	82名	94.25%
メイクアップされた会員	(山形南) 後藤 光政、伊藤 義彦、大西 章泰、武田 秀和、風間 義朗 (山形中央) 小松 公博、宇佐美俊治、武田 博文 (山形北) 伊藤 歩 (山形東) 細谷 伸夫、後藤 光政、風間 義朗、伊藤 義彦、長谷川浩二						